

Matsumoto Atsushi 松本 淳 様

大槌町観光交流協会
コンテンツビジネス戦略事業部会
【特命顧問のご紹介】

敬和学園大学 国際文化学科 准教授

【略歴】

IT・出版・広告代理店、映画会社などを経て、ジャーナリスト・プロデューサーとして約10年活動ののち、2019年に敬和学園大学人文学部国際文化学科に着任（准教授）。同年NPO法人アニメ産業イノベーション会議を設立（理事長）。情報メディア・コンテンツ産業に関する教育と研究、また学生とプロジェクト運営を行う事で、プロデューサー人材の育成を進めている。

デジタルハリウッド大学院DCM修士（専門職）・東京大学大学院社会情報学修士（社会情報学）。経産省コンテンツ産業長期ビジョン検討委員（2015）など。

著書に「コンテンツビジネス・デジタルシフト」（NTT出版）、「コンテンツが拓く地域の可能性」（同文館・大谷尚之・山村高淑との共著）など。

【研究キーワード】

ツーリズム、地域経済、アニメ、コンテンツ産業

【委員歴】

2014年8月～2015年8月 日本アセアンセンター ASEANキャラクター大賞 審査員
2014年10月～2015年3月 経済産業省 コンテンツ産業長期ビジョン検討委員
2012年4月～2013年3月 経済産業省 関東経済局CMT（クリエイティブ産業振興）プロジェクトコーディネータ

【論文】

「外資大手配信事業者が日本のアニメ産業にもたらす影響について 一産業構造・課題への好影響と懸念点—（情報文化学会誌 26(2) 11 - 18 2020年2月）」

「アニメの制作プロセスとビジネス構造を変化させる3D技術——『蒼き鋼のアルペジオ-アルス・ノヴァ-』『正解するカド』『けものフレンズ』が示した3つの方向性（19(2) 2018年3月）」

「クラウド化するコンテンツ～価値創出のメカニズム（デジタルコンテンツ白書2014 2014年9月）」

【書籍出版物】

「コンテンツが拓く地域の可能性」（同文館出版 2018年9月）

「コンテンツビジネス・デジタルシフト—映像の新しい消費形態」（NTT出版 2012年5月）

【所属学協会】

情報文化学会、日本社会情報学会(JSIS)、日本アニメーション学会

【松本先生からのメッセージ】

震災から10年が経ち、大槌町ではこれまでのコンテンツ展開を活用した復興の歩みを更に大きく推し進めようとされています。その歩みに微力ならばご協力ができるかと考えています。

【松本先生へのご取材】 〒957-0062 新潟県新発田市富塚1270
敬和学園大学人文学部国際文化学科 電話：0254-26-3636